



学校だより 10月

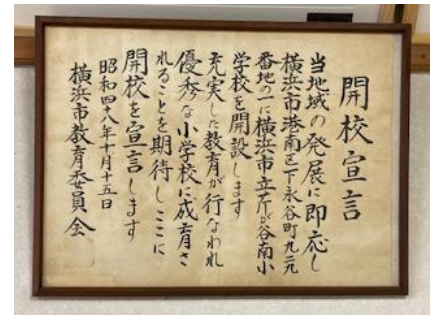
令和3年10月1日 横浜市立芹が谷南小学校

創立記念日に ～開校当時のエピソード～

学校長 高木 篤子

額に入った『開校宣言』が校長室に掲げられています。昭和48年10月15日、芹が谷南小学校が開校しました。

今年で49回目の創立記念日。記念誌等を参考に、開校当時のエピソードをご紹介します。



☆モダンな校舎・きれいな校内に驚きと喜び

ベランダがあるモダンな校舎で、マンションと間違えて入居を希望する人が訪れたほどだったそうです。児童は、校舎の新しさ、廊下の広さ、水飲み場のタイル画や音楽室のカーペットなどに、驚いて、喜びました。教室の机と椅子は、自分たちで芹が谷小学校から運んできたというお話も伺っています。

☆開校式と式典は校舎内でお祝い

開校時はまだ体育館はなく、開校式は5年生以上が屋上に参列して行い、式典は6年生が参加し集会室（現在の職員室）で、祝賀会は2階の廊下で行われました。第1回卒業式も、集会室で挙行されました。体育館とプールは、創立から3年後の昭和51年に完成したことが記録に残っています。

☆広い校庭で伸び伸び、しかし雨がふると…

広い校庭で、思いきり遊んだり運動したりすることができ、嬉しかったようです。富士山を背景に校庭を走る児童の姿は、きっと今と同じでしょう。しかし、今は水はけがよい校庭ですが、当時は雨が降ると田んぼのようになり、風が吹けば砂塵が舞ってしまい、職員や保護者が協力して、校庭の整備などに努力してくださったそうです。

☆いちばん児童数が多いときは1000人以上

昭和48年は児童数709名20学級でした。その後、児童数が増加し、昭和54年4月には1281名32学級となり、その年9月に児童409名・職員10名が平戸台小へ移りました。いちばん児童数が多いときは、現在の児童数313名の約4倍になります。この頃に「秋の全校歩き遠足」が行われ、保土ヶ谷児童公園へ全校で出掛けたそうです。

本校の卒業生はじめ関係者の皆様から、開校からのお話や本校への思いをお伺いできればありがたく存じます。来年はいよいよ創立50周年を迎えます。一歩ずつ進み、新たな歴史を重ねていきます。